

# 被災宅地復旧支援事業

地震で被害を受けた方への再建を後押しするため、  
「液状化の発生した」または「液状化のおそれのある」宅地の  
液状化対策の地盤改良工事を支援しています。

液状化の判断には、

- ① 地盤の調査
  - ② 液状化の判定
- 2つ必要

液状化は地下水位が高く、砂質の地盤で起こりやすいことが分かっています。

そのため、液状化被害を防ぐには、事前にきちんとした調査を行い、  
必要に応じた対策をとることが大切です。まずは、工事を依頼する  
ハウスメーカーや工務店などに地盤の状況についてご相談ください。

## ①地盤の調査



液状化は、噴砂などの地表面の変状により目視で確認できますが、時間の経過とともに、写真や現地確認による判断が難しくなってしまう。

地盤調査（SWS試験、ボーリング調査など）に加え、水位測定、試料採取等の実施により、液状化のおそれの有無をより客観的に判定することができます。

## ②液状化の判定



判断を統一するため、地盤の調査結果に基づく液状化判定を行ってください。

簡易な判定であれば、住宅を建てる前に通常行われている地盤調査（SWS試験）に、水位測定、試料採取を追加することにより液状化のおそれの有無を判断することができます。

※通常は、水位測定、試料採取、液状化判定を行わないことが多いため、ご注意ください。

【問い合わせ先】 各市町被災宅地復旧支援事業窓口へお問い合わせください